平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月7日

上 場 会 社 名　丸一鋼管株式会社　　上場取引所　東 大
コ ー ド 番 号　5463　　ＵＲＬ　http://www.maruichikokan.co.jp
代　　表　　者　（役職名）取締役社長　　（氏名）鈴木　博之
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長（氏名）河村　康生　　（TEL）06-6531-1201

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月14日　　配当支払開始予定日　　平成24年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	58,072	△2.3	7,069	△14.7	7,954	△16.7	1,584	△67.0
24年３月期第２四半期	59,413	5.4	8,283	△7.4	9,554	△8.0	4,796	△13.3

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　642百万円（41.4%）　24年３月期第２四半期454百万円（59.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	18.62	18.60
24年３月期第２四半期	56.17	56.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	250,422	212,045	81.5
24年３月期	249,225	214,382	83.0

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　204,073百万円　24年３月期　206,948百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	20.00	―	28.50	48.50
25年３月期	―	20.00			
25年３月期(予想)			―	26.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	118,600	△1.7	14,400	△7.7	15,900	△10.0	7,000	△6.1	82.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無
新規　　一社　　（社名）　　、除外　　―社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：有
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：有
④ 修正再表示 ：無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は添付資料Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期２Ｑ	94,000,000株	24年３月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	9,270,425株	24年３月期	8,774,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期２Ｑ	85,118,814株	24年３月期２Ｑ	85,397,112株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報.... 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報.... 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報.... 2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報.... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.... 4
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.... 4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.... 4
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.... 4
３．四半期連結財務諸表.... 5
(1)　四半期連結貸借対照表.... 5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.... 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間.... 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間.... 8
(3)　継続企業の前提に関する注記.... 9
(4)　セグメント情報等.... 9
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.... 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな景気回復が見られたものの、中国経済の減速、円高の長期化など、依然として厳しい状況にあり、景気の先行きは不透明な状況で推移しています。

（日本）

国内事業につきましては、当社の主力製品である建築向け鋼管需要は震災復興需要の遅れなどもあり依然として低調ですが、自動車向け需要の回復により、販売数量は若干の回復が見られました。しかしながら、製品価格につきましては、建築用の需要の改善が見られないこと、国内・アジアの鉄鋼価格の低迷、円高の影響などから前年同期比大幅に下落しました。従い不採算品種の陥没価格の是正をはかるために値上げを発表し、足下、価格の改善に乗り出しました。

以上により国内事業は、売上高は432億5千4百万円（前年同期比5.0％減）、セグメント利益は68億8千6百万円（前年同期比12.1％減）の結果となりました。

（北米）

北米事業につきましては、販売数量が増加しましたが、販売単価は下落しました。結果、売上高は74億2千8百万円（前年同期比9.2％増）と増加いたしました。一方販売単価の下落によるスプレッド悪化及びマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）での減価償却費の負担増などの要因によりセグメント利益は1億3千1百万円（前年同期比83.7％減）と大幅に減少いたしました。

（アジア）

アジア事業につきましては、第１四半期連結会計期間より、インドの製造子会社であるマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド（KUMA社）の重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。売上高は、ベトナム経済の減速及び東南アジアの鉄鋼価格の下落によりマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では減少しましたが、KUMA社を連結範囲に含めたことにより、73億8千9百万円（前年同期比4.5％増）と増加しました。セグメント利益は、主としてSUNSCO社ののれん代の償却負担が減少したことにより、5千3百万円を計上しました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高は580億7千2百万円（前年同期比2.3％減）、営業利益は70億6千9百万円（前年同期比14.7％減）、経常利益は79億5千4百万円（前年同期比16.7％減）、四半期純利益は、投資有価証券評価損59億1千7百万円の計上などにより15億8千4百万円（前年同期比67.0％減）となりました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル79円74銭であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は2,504億2千2百万円（前連結会計年度比11億9千6百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、有価証券が52億3千2百万円､受取手形及び売掛金が12億6千9百万円減少しましたが、現金及び預金が158億6千万円増加したことにより流動資産合計で93億5千7百万円増加しました。固定資産については、有形固定資産が29億1千5百万円増加しましたが、投資有価証券が株式の時価の下落による投資有価証券評価損の計上及び評価差額金などの減少により112億2千1百万円減少し、固定資産合計で81億6千万円減少しました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は383億7千6百万円（前連結会計年度比35億3千3百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動負債については、未払金が10億5千4百万円増加しましたが、未払法人税等が38億5千8百万円減少したことなどにより、流動負債合計で24億2千4百万円減少しました。固定負債については、主として長期借入金が38億5千万円増加したことにより、固定負債合計で59億5千8百万円増加しました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は2,120億4千5百万円（前連結会計年度比23億3千6百万円の減少）となりました。

主な内容は、その他有価証券評価差額金が12億8千6百万円、利益剰余金が7億7千7百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年８月７日に業績予想を修正いたしましたが、建築向け需要の低迷など市況は依然として厳しい状況が続いていますが、当初見込みよりコスト削減が可能となった事や、また株式の時価下落に伴う投資有価証券評価損の当期純利益に対する影響などを考慮して、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「平成25年３月期第２四半期累計期間業績予想と実績との差異、及び通期業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

（日本）

国内事業につきましては、建築向け需要の低迷など依然として厳しい状況が続いていますが、製品価格については、陥没価格の改善に努め、また、北上加工センターや丸一鋼販株式会社の北上営業所の新設などにより販売面の強化をはかり、売上・利益の確保にも努めてまいります。一方来年央の完成予定で東京工場の東京第二工場への移転工事に着手致しました。

（北米）

北米事業につきましては、売上数量は増加しておりますが、販売価格の改善に努め、米国Leavitt社における新規設備投資に対する償却負担増などにより低下した収益面の改善に努めてまいります。中西部の自動車分野の新規需要開拓にも努めてまいります。一方メキシコの新規自動車用パイプ事業（MARUICHIMEX社)に関しては年内の建設完了、来年初の稼働予定です。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、販売数量が減少しておりますが、APIラインパイプの輸出などにより販売数量の増加に努めてまいります。また、既存製造設備の整備を進め、品質の向上にも努めてまいります。一方、NO２CGL ＆ NO２CCLの来年央の完成を目ざして建設を予定通り進めてまいります。

インドKUMA社では、自動車用ステンレス鋼管のシェア拡大に努め、販売数量の増加をはかり、収益の拡大を図ってまいります。又アジア他地域でのステンレス鋼管製造計画を進めてまいります。

一方当社持分法子会社の中国MMP社は中国での日本自動車の不買運動の影響で１０－１２月は売上は半減するが、当社の連結経営成績に与える影響は今のところ軽微との見通しであります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,982	73,843
受取手形及び売掛金	29,896	28,626
有価証券	13,038	7,806
製品	7,423	7,593
原材料及び貯蔵品	13,429	12,606
その他	3,554	4,199
貸倒引当金	△232	△226
流動資産合計	125,091	134,449
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,915	30,279
その他	34,967	37,519
有形固定資産合計	64,883	67,798
無形固定資産		
のれん	149	165
その他	1,582	1,459
無形固定資産合計	1,731	1,624
投資その他の資産		
投資有価証券	52,843	41,622
その他	4,724	4,976
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	57,519	46,549
固定資産合計	124,133	115,972
資産合計	249,225	250,422

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,729	11,443
短期借入金	5,661	5,540
未払法人税等	4,380	522
賞与引当金	833	769
役員賞与引当金	66	66
その他	3,633	5,536
流動負債合計	26,304	23,880
固定負債		
長期借入金	4,394	8,245
退職給付引当金	3,020	3,058
役員退職慰労引当金	37	42
繰延税金負債	467	362
その他	617	2,787
固定負債合計	8,538	14,496
負債合計	34,843	38,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	205,332	204,554
自己株式	△19,750	△20,503
株主資本合計	210,998	209,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,514	2,227
為替換算調整勘定	△7,565	△7,622
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△5,394
新株予約権	91	102
少数株主持分	7,342	7,869
純資産合計	214,382	212,045
負債純資産合計	249,225	250,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)
売上高	59,413	58,072
売上原価	45,772	45,788
売上総利益	13,640	12,284
販売費及び一般管理費	5,357	5,214
営業利益	8,283	7,069
営業外収益		
受取利息	128	96
受取配当金	1,029	674
持分法による投資利益	229	103
匿名組合投資利益	42	－
その他	503	315
営業外収益合計	1,933	1,190
営業外費用		
支払利息	90	77
為替差損	274	－
不動産賃貸費用	140	108
租税公課	88	70
その他	66	48
営業外費用合計	661	305
経常利益	9,554	7,954
特別利益		
投資有価証券売却益	57	331
関係会社株式売却益	446	－
匿名組合清算益	482	－
その他	6	3
特別利益合計	993	334
特別損失		
固定資産除却損	22	24
投資有価証券評価損	934	5,917
その他	50	4
特別損失合計	1,007	5,945
税金等調整前四半期純利益	9,541	2,343
法人税等	4,390	702
少数株主損益調整前四半期純利益	5,150	1,641
少数株主利益	353	56
四半期純利益	4,796	1,584

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,150	1,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,566	△1,157
為替換算調整勘定	△180	269
持分法適用会社に対する持分相当額	50	△109
その他の包括利益合計	△4,695	△998
四半期包括利益	454	642
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	151	501
少数株主に係る四半期包括利益	302	140

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,537	6,804	7,071	59,413	－	59,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	－	－	62	△62	－
計	45,599	6,804	7,071	59,476	△62	59,413
セグメント利益又は損失（△）	7,837	809	△361	8,285	△2	8,283

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,254	7,428	7,389	58,072	－	58,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	49	－	－	49	△49	－
計	43,304	7,428	7,389	58,122	△49	58,072
セグメント利益	6,886	131	53	7,072	△2	7,069

（注）１．セグメント利益の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。